

文化庁平成28年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「実演芸術連携交流事業」

シンポジウム『実演芸術で世界とつながる』

〜アジアのオーケストラの事例から〜

日本との

継続的な交流を重ねてきた

アジアのオーケストラ

ベトナムとミャンマーの

2つの事例から

国際交流の意義と可能性を探ります

SYMPOSIUM

第1部…事例紹介

■ ホーチミンバレエ・オペラ交響楽団

■ ミャンマー国営ラジオTV局交響楽団

第2部…討論

「国際交流が育むクリエイティブな未来」

パネリスト チャン・ヴァン・タック(ホーチミンバレエ・オペラ交響楽団)

グエン・マンドウイ・リン(ホーチミンバレエ・オペラ交響楽団)

トー・チヨウ(ミャンマー国営ラジオTV局交響楽団)

ウイン・ミン・ピョコ(ミャンマー国営ラジオTV局交響楽団)

オー・ピョンクウオン(デジョンアートセンター)

吉井 實行(日本オーケストラ連盟)

山本 祐ノ介(指揮者・チェロ奏者)

小山 京子(ピアニスト) ほか

進行 大橋 マリ(音楽ジャーナリスト)

主催／文化庁

公益社団法人日本芸能実演家団体協議会「芸団協」

共催／公益社団法人日本オーケストラ連盟

後援／国際交流基金(申請中)

公益社団法人全国公立文化施設協会

一般社団法人日本クラシック音楽事業協会

関連事業／アジアオーケストラウィーク2016(10月4日〜7日)

詳細はウェブサイトを <http://www.orchestra.or.jp/>



今日、アジアのオーケストラの躍進ぶりが注目されています。その背景には、日本との継続的な交流が大きく寄与しているようです。アジア オーケストラ ウィークへの2度の来日公演を通じ、芸術面での収穫を得て成長を続けるホーチミン バレエ・オペラ交響楽団と、日本からミャンマーへ赴いた指導者との出会いにより加速度的に成長を続け、国民の人気急上昇中のミャンマー国営ラジオTV局交響楽団。2つのユニークな事例を紐解きながら、国際交流の意義と可能性を探ります。

PROGRAM

※日英同時通訳付き

13:30 開会挨拶

13:45 事例紹介

- ホーチミン バレエ・オペラ交響楽団
- ミャンマー国営ラジオ TV 局交響楽団
- ▶休憩

15:00 討 論

「国際交流が育むクリエイティブな未来」

東洋と西洋、伝統と現代の対峙のみならず、創造活動における文化的摩擦や不協和を超え、協働した先に広がる世界とは？

17:30 終了予定

PANELIST

〈パネリスト〉

- チャン・ヴォン・タック Tran Vuong Thach (ホーチミン バレエ・オペラ交響楽団 芸術監督兼指揮者 | ベトナム)
 グエン・マン・ドゥイ・リン Nguyen Manh Duy Linh (ホーチミン バレエ・オペラ交響楽団 舞台芸術課長 | ベトナム)
 トー・チョウ Toe Kyaw (ミャンマー国営ラジオ TV 局音楽部長 兼 ミャンマー国営ラジオ TV 局交響楽団 代表 | ミャンマー)
 ウィン・ミン・ピョコ Win Min Phyko (ミャンマー国営ラジオ TV 局交響楽団 海外担当 | ミャンマー)
 オー・ピョン・クウォン Oh, Pyeong Kwon (デジョンアートセンター CEO | 韓国)
 吉井 実行 Saneyuki Yoshii (公益社団法人日本オーケストラ連盟 専務理事)
 山本 祐ノ介 Yunosuke Yamamoto (指揮者・チェロ奏者)
 小山 京子 Kyoko Koyama (ピアニスト) ほか

〈進 行〉

大橋 マリ Mari Ohashi (音楽ジャーナリスト)

ホーチミン バレエ・オペラ交響楽団

Ho Chi Minh City Ballet and Symphony Orchestra

ホーチミン市初のプロ・オーケストラとして1994年に設立。創設以来、チャン・ヴォン・タック氏が首席指揮者を務める。ホーチミン市民劇場(別名サイゴン・オペラハウス)を拠点とし、バレエ、オペラの他、クラシックの主要楽曲からベトナム作品まで幅広いレパートリーを持つ。2008年「アジア オーケストラ ウィーク」で初来日。この来日公演を通して得た芸術面の収穫は大きく、帰国後は定期演奏会の回数を増やすなど演奏活動を活性化、レパートリーにドイツ音楽を積極的に導入する等の影響を与えた。2014年、「アジア オーケストラ ウィーク」初となる2度目の招聘オーケストラとして再来日。欧米各国、韓国などから客演指揮者を招聘し、楽団のさらなる前進を図っている。

ミャンマー国営ラジオTV局交響楽団

Myanmar National Symphony Orchestra

2001年、ミャンマー初のオーケストラとして設立。主に民族音楽を専門に学んだ楽団員によって組織され、外国人指導者を招いて研鑽を積んでいたが、2004年、政変により表立った活動は原則停止となる。その後、民主化の動きとともに活動を再開。2012年7月、多数の外国人奏者をエキストラに迎え、国内初の本格的なクラシックコンサートを開催。2013年以降、山本祐ノ介氏と小山京子氏が継続的に指導に訪れ、2014年12月にヤンゴン国立劇場にて楽団員のみによるコンサートを初開催、2016年1月にはヤンゴン他1都市でのツアー公演に至った。これらの模様はミャンマー全土に生中継され、広く国民の認知を得ると共に、楽団員にも大きな自信とモチベーションを与えている。

文化庁 平成28年度 次代の文化を創造する新進芸術家育成事業「実演芸術連携交流事業」

この事業は、国内外のプロデューサー、アートマネジメント人材、舞台スタッフ、実演家等の人材交流の促進を通じて、芸術文化を支えるグローバル人材の育成、芸術文化の国外への強化を図り、わが国の実演芸術の一層の振興に資することを目的としています。今年度は、「国内専門家フェローシップ制度」「全国劇場・音楽堂等連携フォーラム」「実演芸術国際シンポジウム」の3つの取り組みを実施しています。 <https://www.geidankyo.or.jp/renkeikoryu/>



公益社団法人日本芸能実演家団体協議会 [芸団協]

GEIDANKYO 〒163-1466 東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー11階 TEL: 03-5353-6600 FAX: 03-5353-6614 <http://www.geidankyo.or.jp>

申込方法

- メール entry@geidankyo.or.jp
- FAX 03-5353-6614

…下記申込欄と同様の必要事項を明記してお送りください。

…下記申込欄にもれなくご記入の上お送りください。

- ◆ 当日は取材、記録撮影などを行います。
- ◆ 代表者による複数名同時申込の場合は、全員分の必要事項をもしもなく明記してください。
- ◆ 頂いた個人情報は、今後の同種の芸団協関連事業のご案内に使用させていただきます。

FAX申込フォーム 申込締切 10月3日(月)

ふりがな	ご担当職務・役職	
お名前		
ご所属(団体名・館名)	TEL	FAX
E-mail		